

[2009年政策集はこちらをクリック](#)

[2013年政策集はこちらをクリック](#)

[2017年政策集はこちらをクリック](#)

| 政策 | 達成状況 | | | | | | |
|---|-------------------------------|--|--|--|--|--|-----------------------|
| | 1期目 (H21.4~H25.3) 2009 ~ 2013 | | 2期目 (H25.4-H29.3) 2013 ~ 2017 | | 3期目 (H29.4-R3.3) 2017 ~ 2021 | | |
| アクアライン 800円 公約 | H21.8.1 | 料金引下げ社会実験 ETC普通車800円化 | H21.8.1~H23.3.31 交通量が1.5倍に増加、 観光客の増加、 物流の効率化、 首都圏全体で年間約358 億円の経済波及効果が発生 | | 平成26年度から当分の間料金引き下げ継続。 県負担は年間5億円に削減。 | | 平成31年度から3年間料金引き下げ協定締結 |
| | H23.2.16 | H26.3.31までの 3年間継続決定 | | | | | |
| | H25.12.20 | 社会実験が終了し、 国が「新たな高速道路料金に関する基本方針」を決定し、 H26.4から「アクアライン割引」として 料金引き下げ継続が決定。県負担は年間5億円に削減。 | | | | | |
| | 参考資料 | 森健だより2011.6月号 森健だより2012.2月号 | | 森健だより2013.9月号 森健だより2014.4月号 | | 森健だより2019.5月号 | |
| 成田空港の 機能強化 | H22.10.13 | 地元説明会を重ね国・県・周辺市町及び空港会社の 四者協議会にて空港発着枠30万回への拡大合意。 | H27.9.17 | 「成田空港に関する四者協議会」開催、 成田空港の機能強化に向けた協議がスタート | R1.10.27 | 開港以来初となるA滑走路の夜間発着時間を 深夜1時間延長、午前0時まで発着可能に | |
| | H25.7.31 | 企業・経済団体・県や市町村など官民一体となった 成田空港活用協議会を設立。その他オープンスカイ開始、 カーフェリーの弾力的運用などにより、開港35周年を迎えた 成田空港の機能強化・活性化に向け取り組む。 | H30.3.13 | 四者協議会にて第3滑走路増設・B滑走路延伸・ 年間発着枠50万回への拡大・夜間飛行制限の 変更など更なる機能強化の実施に合意 | | | |
| | 参考資料 | 森健だより2011.6月号 森健だより2012.2月号 | | 森健だより2016.11月号 | | 森健だより2018.10月号 森健だより2019.5月号 | |
| 北総線運賃 の値下げ 公約 | H21.11.5 | 県と沿線6市2村が、普通運賃約5%・ 通学定期25%・通勤定期1%値下げで合意。 | | | | | |
| | H22.7.17 | 成田スカイアクセスの開業に合わせ 北総鉄道の通運賃約5%、通学定期25%、 通勤定期約1%を5年間値下げ実施。 | | | | | |
| | 参考資料 | 森健だより2012.2月号 | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------------------|--|--|-----------|--|-----------|---|
| アクアライン マラソン | H24.10.21 | 海上の高速道路を走る 日本初のフルマラソンを実施。 約14000人のランナー、完走率約74%、 約31万人の沿道応援者。 | H26.10.19 | フルマラソンに加えハーフマラソンを新たに設け 約17000人のランナーが参加。 完走率フル約85%、ハーフ約92%、 約35万人の沿道応援者。 | H30.10.21 | 団体戦新設、約1000人参加。約16000人、 完走率フル約86%、ハーフ約95%、 車いす50%、総計約89%、 約36万人の沿道応援者。 |
| | | | H28.10.23 | 車いすハーフマラソンを新たに設けるとともに 34の国と地域から480人の外国人ランナーが参加。 約16000人、完走率フル約90%、ハーフ約95%、 車いす56%、総計約91%、約36万人の沿道応援者。 | | |
| | 参考資料 | 森健だより2011.6月号 | | 森健だより2014.11月号 森健だより2016.11月号 | | 森健だより2019.2月号 |
| 移動交番車 設置 公約 | H22.3~ | 地域防犯力強化、県民の安心感醸成のため、 移動交番車を15台で運用開始し、 警察官2名（うち1名女性）と移動交番相談員1名が 乗車。H25.1~全車にAED搭載。 | | 県下全警察署に50台配備 | | 県下全警察署に60台配備 |
| | 参考資料 | 森健だより2011.6月号 森健だより2012.5月号 | | 森健だより2013.12月号 | | 森健だより2019.2月号 |
| 防犯ボックス 設置 | | | H25.11.6 | 県のモデル事業として、千葉市及び市川市の コンビニに設置、防犯ボランティア等と連携し、 地域防犯の核となることを目指す。 | H29.4~ | H28地域防犯の主体である市町村に対する 補助制度を創設。 |
| | | | H27 | 柏市、船橋市に設置。 | R2 | 14市町15か所（うち市町村設置12か所）に拡大 |
| | 参考資料 | | | 森健だより2013.12月号 | | 森健だより2018.7月号 |
| 子供医療費 助成拡大 公約 | H22.12.1 | 通院及び入院医療費を 小学校就学前から小学3年まで拡大 | | | | |
| | H24.12.1 | 入院医療費を中学3年まで拡大 | | | | |
| 参考資料 | 森健だより2011.6月号 森健だより2013.12月号 | | | | | |
| 私学助成拡大 公約 | | 高校44位→24位 中学38位→10位、 小学26位→6位 幼稚園36位→26位 | | 高校44位→20位 中学38位→9位 小学26位→5位 幼稚園36位→21位 | | 令和2年度当初予算 高校44位→11位 中学38位→13位 小学26位→8位 幼稚園36位→12位 |
| | 参考資料 | 森健だより2011.6月号 | | 森健だより2013.12月号 森健だより2014.11月号 | | 森健だより2018.10月号 |

| | | | | | | |
|------------------|------|----------------------------------|-----------|--|----|--|
| 観光及び農水産物のトップセールス | | 台湾、タイで観光及び農水産物のPRを実施 | | 台湾・タイ・マレーシアで観光及び農水産物のPRを実施 | | タイ・シンガポール等で観光及び農水産物のPRを実施 |
| | H21～ | トイレや駐車場などの施設整備に助成し、魅力ある観光地づくりを促進 | | | R1 | トイレ整備273か所補助 (市町村166、民間107か所) |
| | 参考資料 | 森健だより2012.5月号 | | 森健だより2014.11月号 森健だより2015.9月号 | | 森健だより2017.12月号 森健だより2018.7月号 |
| オリンピック | | | H27.6.8 | レスリング、フェンシング、テコンドーの3競技が幕張メッセで開催決定 | | 事前キャンプ |
| | | | H27.11.12 | ゴールボール、シッティングバレーボール、車いすフェンシング、テコンドーの4競技が幕張メッセで開催決定 | | |
| | | | H28.12.8 | オリンピック史上初開催のサーフィン競技が一宮町の釣ヶ崎海岸で開催決定 | | |
| | 参考資料 | | | 森健だより2015.6月号 森健だより2016.11月号 | | |
| 高校道徳授業必修化 | | | H25.4～ | 全県立高校における道徳授業の必修化 | | |
| | 参考資料 | | | 森健だより2011.6月号 森健だより2012.2月号 | | |
| 待機児童対策 | | | H29.10～ | 本件独自の取組として、市町村と連携し民間保育士1人当たり基準額月額2万円を補助。 | | 保育所等整備、保育士の確保 |
| | 参考資料 | | | 森健だより2011.6月号 森健だより2017.12月号 | | 森健だより2019.2月号 |
| 高齢者福祉 | | | H26.4～ | サービス付高齢者向け住宅へ住宅建設費の1/20補助創設。 | R2 | 新築の場合675千円/戸上限 |
| | 参考資料 | | | 森健だより2011.6月号 森健だより2014.4月号 | | |

| | | | | | | |
|---|---------|-------------------------------|----------|---|----------|--|
| 道路 ネットワークの 整備促進 公約 | H24.4.6 | 館山自動車道（路線名：東関東自動車道館山線）の4車線化決定 | H25.4.27 | 首都圏中央連絡自動車道の東金JCT・木更津東IC間42.9km開通。地域防災力の強化に繋がる道路軸の形成、東京湾アクアラインを介して首都圏へのアクセスが飛躍的に向上。 | R2.3.6 | 館山自動車道（路線名：東関東自動車道館山線）の富津中央IC・富津竹岡IC間が4車線となり、全線で4車線運用開始 |
| | | | H26.4.12 | 首都圏中央連絡自動車道の茨城県稲敷IC・神崎IC間10.6km開通。千葉県と北関東・東北地方が直接繋がる新たな広域ネットワーク形成。 | H30.6.2 | 東京外かく環状道路の三郷南IC・高谷JCT間15.5kmが約半世紀の時を経て開通。物流の生産性向上、広域的な観光交流が促進。 |
| | | | H27.6.7 | 首都圏中央連絡自動車道の神崎IC・大栄JCT間9.7km開通。東関東と常磐道が圏央道で繋がる新たな広域ネットワークが誕生。千葉県と北関東や東北との「人」「モノ」の流れが飛躍的に向上。 | H31.3.28 | 千葉県湾岸地区道路検討会が開催され、湾岸地域における規格の高い新たな道路ネットワーク計画の具体化に向け議論スタート |
| | | | H30.3.17 | 首都圏中央連絡自動車道の 大栄・横芝間工事着手。令和6年度開通見込み。 | R2.10.16 | 北千葉道路の早期全線開通の実現に向け、国等に一層強く働きかけるため官民一体となった一般国道464号北千葉道路建設促進期成同盟会を設立。市川市から船橋市間の来年度の国による新規事業化及び印西市から成田市間の早期整備促進を図る。 |
| | 参考資料 | | | 森健だより2013.12月号 森健だより2015.3月号 | | 森健だより2016.11月号 森健だより2018.10月号 |
| 千葉港の整備促進 | | | | | H30.11 | 千葉港港湾計画を改訂し、物流機能強化のため千葉中央地区の埠頭を再編、大規模地震発生時における機能維持のため耐震強化岸壁を整備 |
| | 参考資料 | | | | | 森健だより2020.10月号 |
| 外国人 介護人材 就業促進 | | | | | H31.3.14 | 介護をはじめ人材の受入れ促進に向けベトナム政府と覚書を締結。令和元年度からベトナムからの留学生受入プログラムを開始 |
| | 参考資料 | | | | R1.7.1 | 英語及びベトナム語に対応した、外国人介護人材の相談支援や交流などを行う「千葉県外国人介護人材支援センター」を開所 森健だより2019.2月号 |
| 児童相談所の機能強化 | | | | | R1 | 児童相談所の居住環境の整備、児童福祉司や心理司の増員 |
| がんセンター 建替 新棟オープン | | | | | R2.10.26 | 病床数341床から450床に増、患者への負担の少ない手術支援ロボットの増設、通院しながら治療を行える薬物療法センターの拡充、放射線療法等との併用による効果が期待される温熱療法装置（ハイパーサーミア）導入 |